

HAKUBAVALLEY TOURISM
令和三年度活動状況報告書
【Annual Report 2021-22】



一般社団法人 HAKUBAVALLEY TOURISM

目次

- ◆ご挨拶
- ◆活動実績と今期以降の予定
 1. HAKUBAVALLEYエリア概況
 2. 活動実績と今期予定
 3. 今期以降の活動方針
- ◆KPI(主要成長目標指数)
- ◆予決算概要

ご挨拶

- 新型コロナ問題は3年目に突入しました。何よりも皆様のご無事をお祈り申し上げます。
- 一般社団法人HAKUBAVALLEY TOURISM(以下、HVT)は、令和元年6月に長野県から重点指定広域DMOに指定されました。今年はその最終年度である3年目を迎えております。コロナ対応を優先しつつ、自走できる体制を確立することを目指して参ります。
- 2021-22スキーシーズンの国内客数は、コロナ前の水準まで大よそ戻ったと分析しております。6月には入国規制の大幅な緩和が予告され、インバウンド客も徐々に戻ることが予想されます。HVTも徐々に攻めの体制にシフトして行く所存です。
- HVTは7小委員会(営業調整・SNS・ガストロノミーの集客系委員会、SDGs、統一バックカントリー、サイクルトレイル、景観デザインコードの接客・開発系委員会)を設立しました。各々が過去2年間で自走できる体制整備を行ってきました。今年を含む3年間で一定の成果を構築できるだろうと自負しております。今後のHVTの行動方針も併せて本書でご報告致します。
- 今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

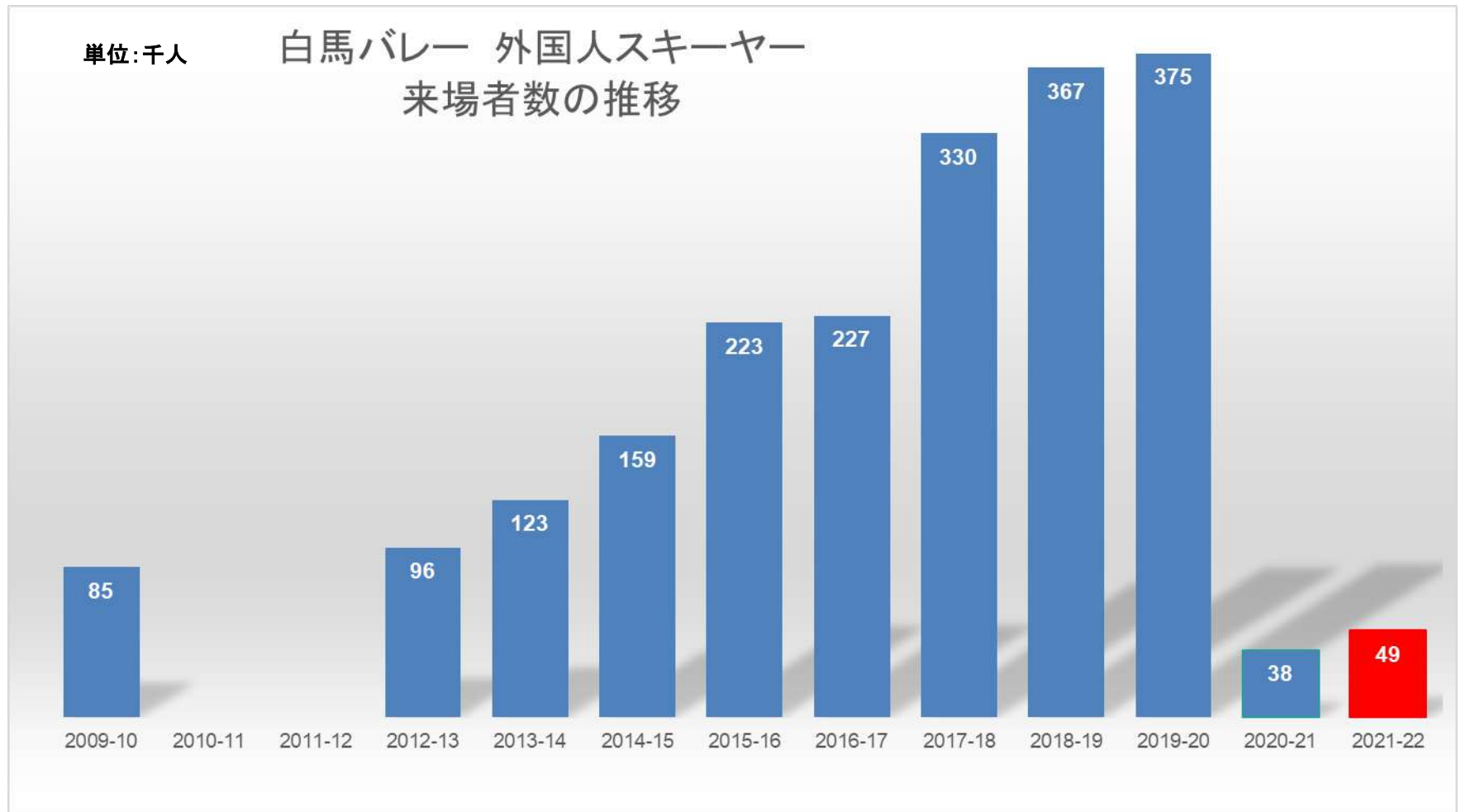
令和4年5月

一般社団法人 HAKUBAVALLEY TOURISM
代表理事 高梨 光



1. HAKUBA VALLEYエリア概況（外国人スキーヤー）

20-21以降、新型コロナで国内居住者限定で激減したが増加傾向。



注: Hakuba Valleyは、爺ガ岳、鹿島槍、さのさか、五竜、Hakuba47、八方尾根、岩岳、栂池高原、白馬乗鞍、コルチナの10スキー場で構成
 出典: HAKUBA VALLEY 索道事業者プロモーションボード(以下HVPBという) 調べ

1. HAKUBAVALLEYエリア概況（夏期観光客）

20-21年以降、新型コロナ影響で減少したが回復傾向。



注: 3市村は大町市、白馬村、小谷村
出典: 3市村観光課 調べ

2. 活動実績と今期予定

各専門委員会の活動状況と今期の予定は以下の通りです。

	委員会	実績	開催回数	今期予定
1	SNS	FB,インスタ,Weibo等SNSへの定期投稿と閲覧分析	11	グリーン期PR動画制作
2	営業調整	各団体営業集約と出展調整 海外現地プロモ再開(豪州5月)	7	各国のコロナ状況見定めつつ、継続的な調整
3	統一ルール	Safety Tipsの部分修正 スキー場サイン統一化協議	5	統一サインの設置 現場意見の集約
4	SDGs	アクションリスト・ハンドブック作成 動画制作	11	事業者向け勉強会開催(2回) mymizuの普及活動
5	サイクルトレイル	八方MTBトレイルの整備 いいもりゲレンデ内MTBコース検討	5	いいもりMTBコース整備 HV内サイクルパーク構想検討
6	景観デザインコード	HV八景選定 八景フォトコンの開催	12	八景案内板の設置 フォトコン開催・周遊旅行商品開発
7	ガストロノミー	小委員会の立ち上げ ガストロノミービジョンの制定	9	事業者向けマッチングイベントと 一般向け食の祭典開催

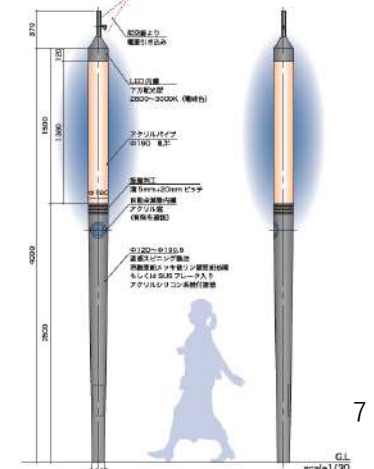
2. 活動実績と今期活動予定

(1) 滞在するだけでも楽しい「まち」づくり サイン・ストリートファニチャー整備

- 1年目 景観デザインコード策定
10スキー場ゲレンデサイン 400点
総合案内看板 6か所
- 2年目 10スキー場ゲレンデサイン 916点
バス停サイン69か所
八方街路灯(県元気づくり支援金活用)
- 3年目 10スキー場ゲレンデサイン 891点
八景案内サイン 24点予定



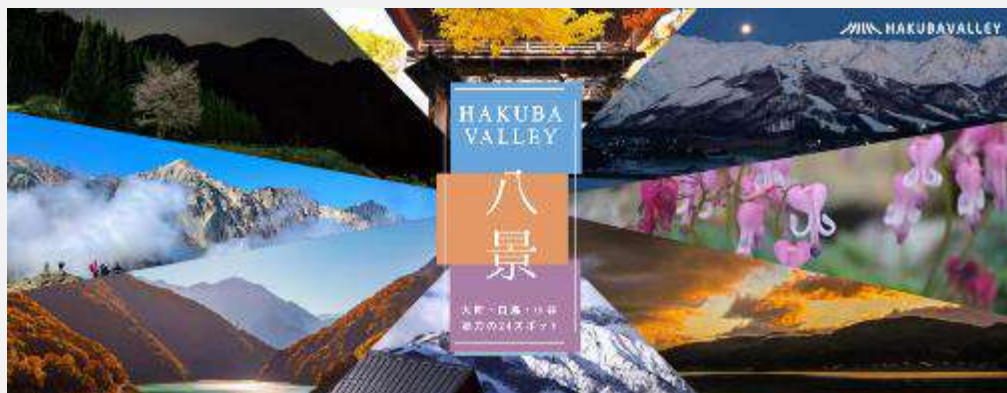
目付の案内サインの参考画像



2. 活動実績と今期活動予定

(2) HAKUBA VALLEY八景を活かした観光ルート構築

1年目HAKUBA VALLEY八景の選定



2年目フォトコンテスト(Web・実展示)



菅沼風景 (藤澤修寛)
*小谷 鏡池
アカウント名: yu_ka1009様



菅沼風景 (朝池哲男賞)
*人町 中瀬俊爾
アカウント名: sayapon712様



菅沼風景 (Hyker Mika賞)
*白馬 岩倉晴雄
アカウント名: kdcmm10様



3年目以降

フォトコンテスト定例化と
常設展示

+

八景を軸としたイベントの
定着・活性

連動イベントも開催
(例: 撮影トリップ・教室)

周遊モデルコースや
公式ツアーの展開

2. 活動実績と今期活動予定

(2)HAKUBAVALLEY八景を活かした観光ルート構築

ワンストップ予約サービスでの販売を視野に入れた、
八景周遊ツアー商品の企画・開発

＜観光ルート構築と拡大ステップ＞

HV八景を巡る周遊モデルの構築

hakubavalley.com内専用サイトやSNS活用

周遊ツアーの企画・販売・運営

地域差別化商品形成のノウハウ獲得、展開

差別化商品のOTAでの販売

(白馬村観光局OTAや大町・小谷観光局とも連動)

他地域と連携した周遊モデル構築

周辺地域も巻き込んだ、活性化



2. 活動実績と今期の予定

(3)世界から顧客を受け入れる環境の実現

感染諸対策検討会議、統ルール制定、パンフレット、ホームページ、SNS小委員会
 エリア一体で安全・安心な観光地域を目指し、国内外から顧客を呼び込む環境整備を実施

<感染対策>



登録事業者 491社

<統ルール>



<パンフレット・HP・SNS>



国内外感染拡大状況に応じ、
 エリア内での感染症対策の
 啓発と推進

現場からの意見を元に、
 適宜アップデート

継続的に各媒体掲載の
 ベース商材として活用

2. 活動実績と今期の活動予定

(4) 訪問の動機づけとなる「食」づくり

事業者(宿泊・飲食・小売)と生産者のマッチングイベント:6月
 観光客も含めた「食の祭典」の開催:11月予定

＜ガストロノミー小委員会(R3年度設立)＞

「食」を目的としたHVエリアへの来訪観光客を創出するために、
 エリア内の食材・料理の研究を行う



外部アドバイザーに、白馬村出身太田哲雄氏
 LA CASA DI Tetsuo OTAオーナシェフ、アマゾンカカオ
 普及活動)を登用



2年目: Hakuba Valleyならではの、食の発掘・開発

2. 活動実績と今期の活動予定

(5)ブランディングからサステイナブル実践へ

- ・事業者向けSDGs勉強会の開催(2回/年)
- ・域内SDGs取組事例の共有

<SDGs小委員会>

1年目 Vision策定
中期計画
アクションリスト

2年目 啓発用小冊子、特設WEB・動画
感染症対策講演会



SDGsの実現に向けた、活動基盤やツール整備に注力

3年目 サステイナブル活動の実践定着に向けた活動

SDGsの基本理解から、実現にむけた第一歩へのアクションを支援

2. 活動実績と今期の活動予定

(6)サイクルレイル計画立案と実施

コース新設により、HV内サイクルレイルの拡充

(1年目)基本コンセプト集約

3市村をつなぐサイクルレイル『新塩の道』の実現を目指す。
第一歩とし今期は施工決定した八方地区のMTBコース建設に参加。

(2年目)白馬村八方のマウンテンバイク(MTB)コースの整備と運用開始。
八方咲花ゲレンデ～細野神社約1.5kmを白馬村観光課、
HVTサイクルレイル小委員会メンバーと地元有志が協力して整備



(3年目)エイブル白馬五竜いいもりゲレンデ内にMTBコースを新規開設予定
今後も施設拡大を継続し、HVサイクルパーク化へ向け検討

3. 今期以降の活動方針

今年度、県重点指定最終年を迎え、自走可能な体制整備を行う。
今後、三市村・観光団体と必要な業務を域内で分担したい。
来期以降、以下の役割をHVTが担う体制を目指したい。

(1) マーケティング活動

HVエリア営業活動の基礎となる市場調査・戦略策定業務

①市場予測業務(例:国内外観光客需要のコロナからの回復予測)

(2) マーケティング関連業務の執行

HVエリアで三市村が必要な作業の一部をHVTが代表して業務執行

(来期から業務執行費を三市村で会費として確保して頂き、HVTに任せて頂くことを想定)

②夏期アンケート調査:この2年間実施したものの継続(冬期はHVPBで実施)

③戦略策定業務(例:夏期インバウンド営業エリア共同方針:対象国時期)

④夏期海外営業(冬期海外営業はHVPBが約10年実施しており、ノウハウが蓄積されている)

(3) 自走のための特定事業の執行

原則、HVエリアで3市村をまたぐ事業、統括的に行った方が良い事業のみを執行

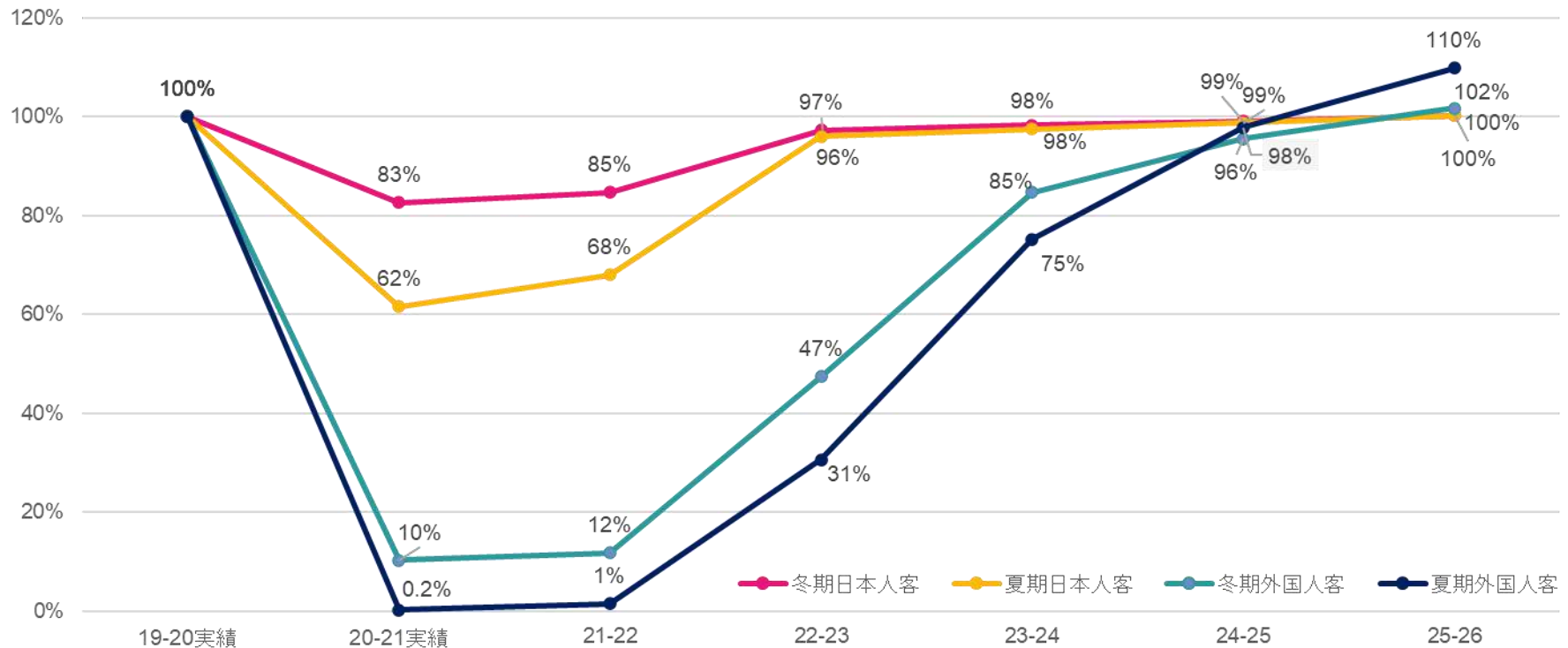
⑤一部小委員会の継続:SDGs・ガストロノミー中心(その他はメンテナンス中心)

⑥HV八景ツアー事業:独自の収益事業として自走のために事業化(景観DC委員会連動)

3. 今期以降の活動方針

(1) マーケティング活動: ① 市場予測業務の例

外国人・日本人来場客数の回復スピード予測(NORMAL)



守りを徹底。外国人回復迄は国内・Expats営業を強化

豪州・米国へのプロモーション注力。中国アジアは感染状況見極め露出強化

3. 今期以降の活動方針

(2)マーケティング関連業務の執行

②アンケート調査 ③戦略立案 ④集客活動 の例

1年目 冬期アンケート調査
(索道継続事業)

+

2年目 夏期アンケート調査



夏冬インバウンド集客
(分析+戦略立案)



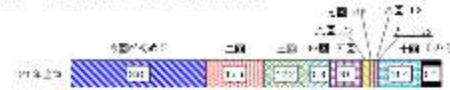
3年目 夏冬集客戦略の融合
(国内集客から開始)



夏インバウンド集客開始

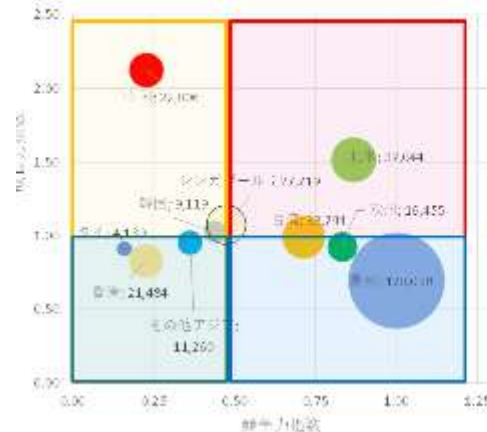
IV Hakuba Valleyの利用経致

1. グリーンシーズンの利用経致と今後の利用増見



国別	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
全乗客数	240	26.0	25.0	12.1	5.0	8.6	2.2	0.0	1.0	0.2	1.4	2.4
乗客数	180	16.8	15.7	10.0	2.9	8.7	0.1	0.0	1.0	0.2	1.1	2.4
乗客1人当たり乗客数	20	20.0	20.0	20.0	6.0	17.1	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0
アジア	41	38.7	37.9	38.7	-	2.4	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0
北米	11	10.0	9.1	5.1	-	0.1	0.0	-	-	-	0.1	0.1
欧州	21	19.4	18.9	10.0	-	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0
その他アジア	10	9.9	9.8	9.8	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
韓国	16	14.1	13.0	14.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中国	20	18.9	18.0	12.0	2.0	8.0	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0
シンガポール	20	18.9	18.0	12.0	2.0	8.0	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0
タイ	10	9.9	9.8	9.8	2.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他アジア	40	37.8	36.8	4.7	2.0	2.0	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0
合計	240	26.0	25.0	12.1	4.0	7.1	2.0	0.0	1.0	0.0	1.0	2.0
アジア	20	18.9	18.0	12.0	4.0	4.0	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0
その他アジア	40	37.8	36.8	4.7	2.0	2.0	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0

HV冬期国別競争力/成長力比較



4つのグループに分けると、

- Star (花形) : 北米 (アメリカ・カナダ)
- Cash cow (金の成る木) : 豪州・台湾・欧州
- Problem child (問題児) : 中国、シンガポール、韓国
- Dog (負け犬) : 香港・タイ・その他アジア

この中からどの国を狙うべきか？

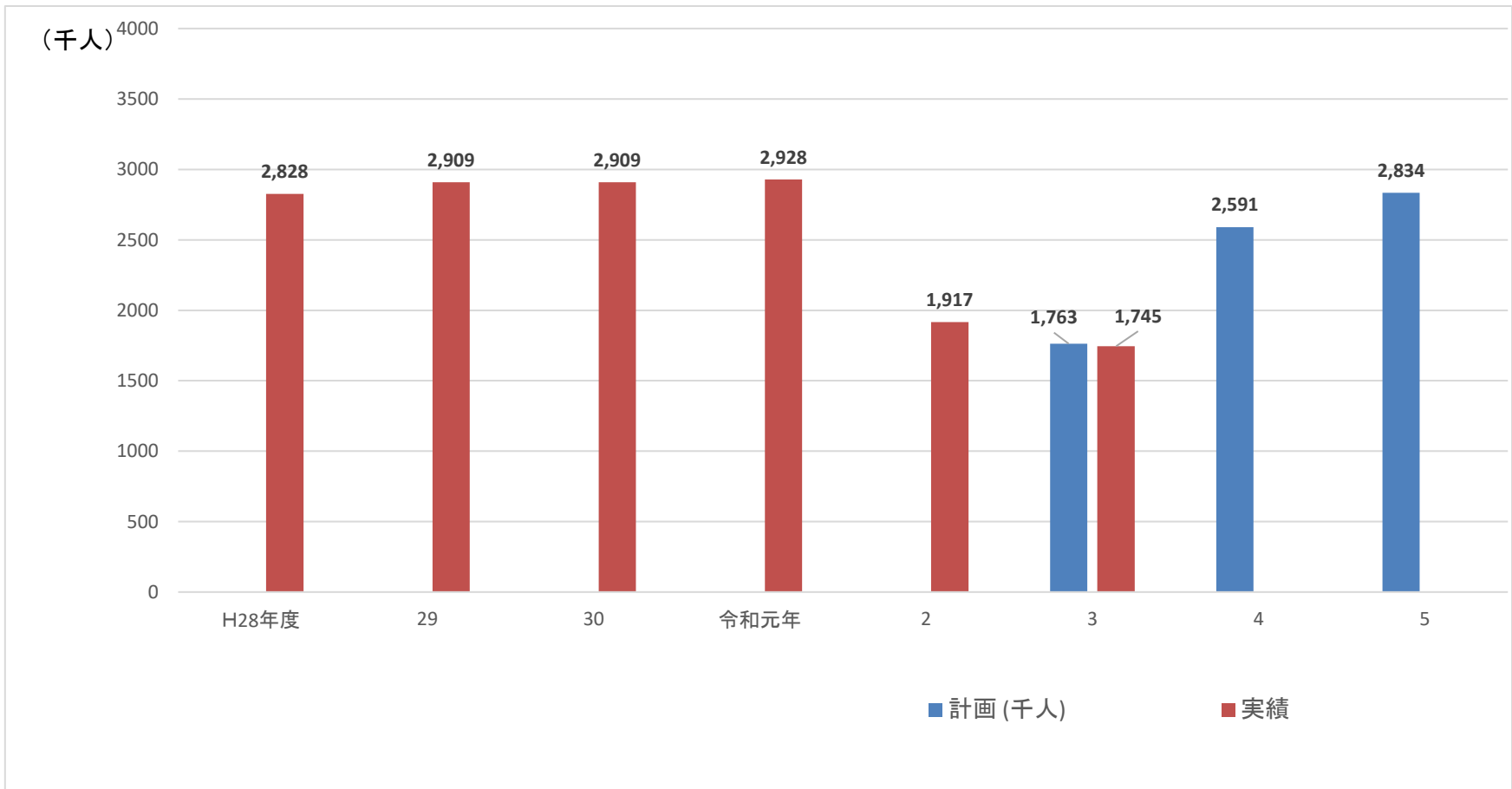
KPI(主要成長目標指数)

昨年コロナ感染拡大に伴い、KPI目標の見直しを行いました。
 今年度は、見直した各KPIに対しての進捗を確認いたしました。
 影響は依然ありますが、計画に対し概ね順調に推移中です。



KPI(成長目標指数) ① 観光客延べ宿泊者数

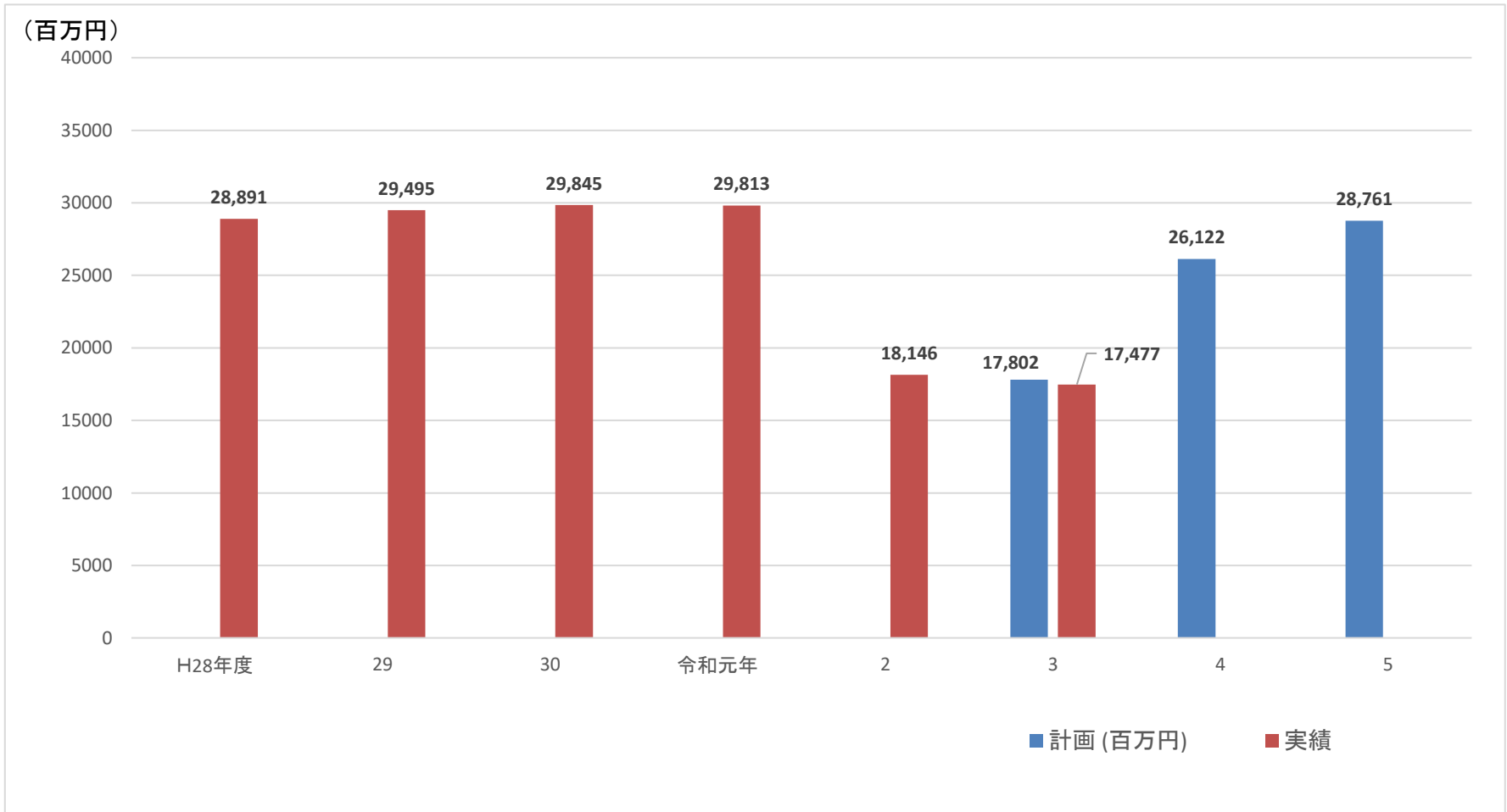
令和3年は新型コロナの影響継続だが、計画に対してほぼ達成。



注: 22/1月までに高リスク集団のワクチン接種計画が完了することを前提にKPMGの予測値から推測
出典: 3市村調べ

KPI(成長目標指数) ② 旅行消費額

新型コロナによる来場者減により消費額減少傾向だが、ほぼ計画通り。



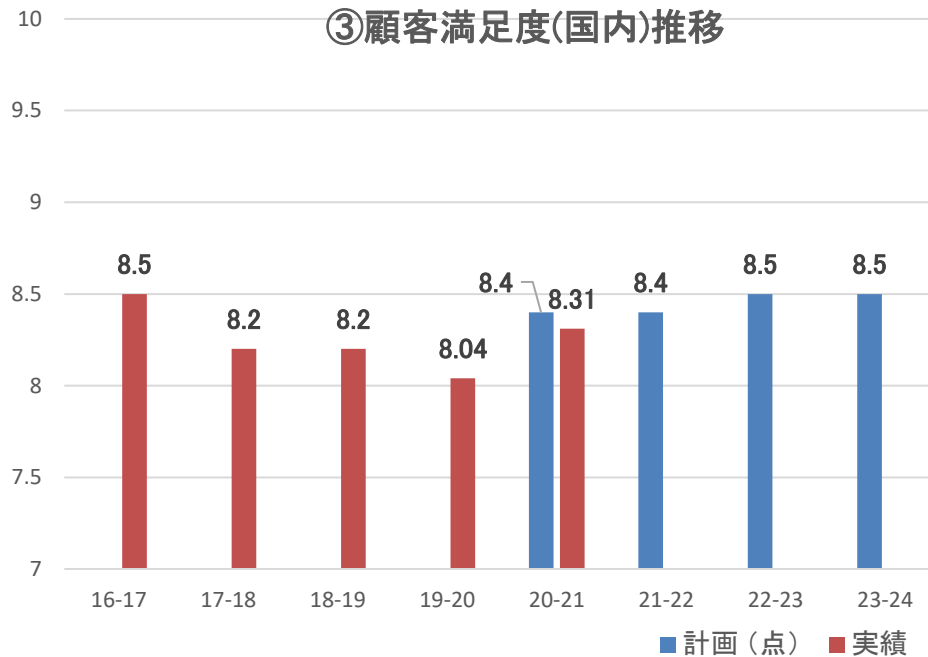
注: 22/1月までに高リスク集団のワクチン接種計画が完了することを前提にKPMGの予測値から推測
 出典: 3市村調べ

KPI(成長目標指数)

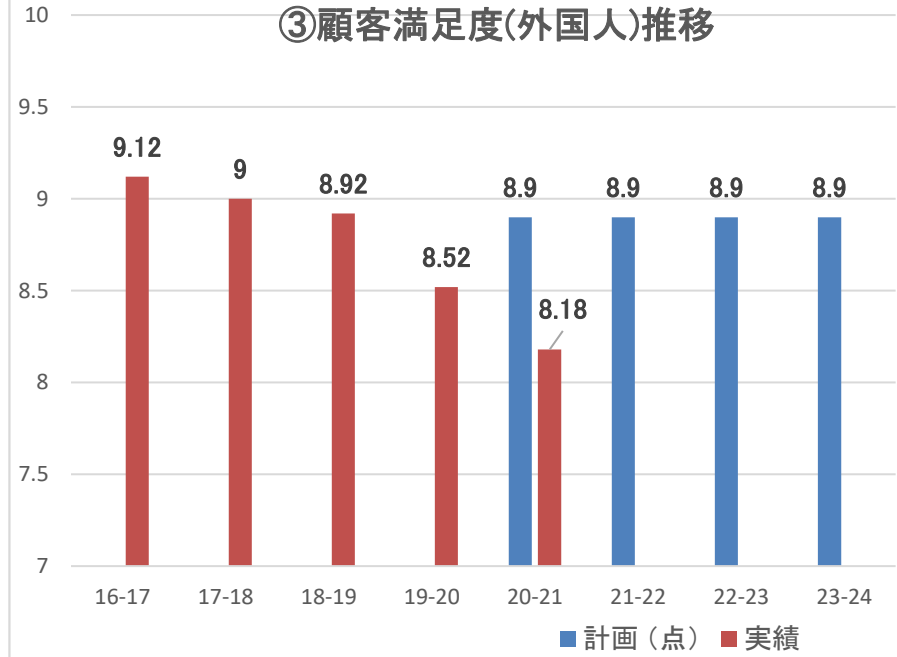
③ 冬期(スキー場)来訪者満足度

国内は8.5点達成を、外国人は8.9点確保を目標とします。

③顧客満足度(国内)推移



③顧客満足度(外国人)推移

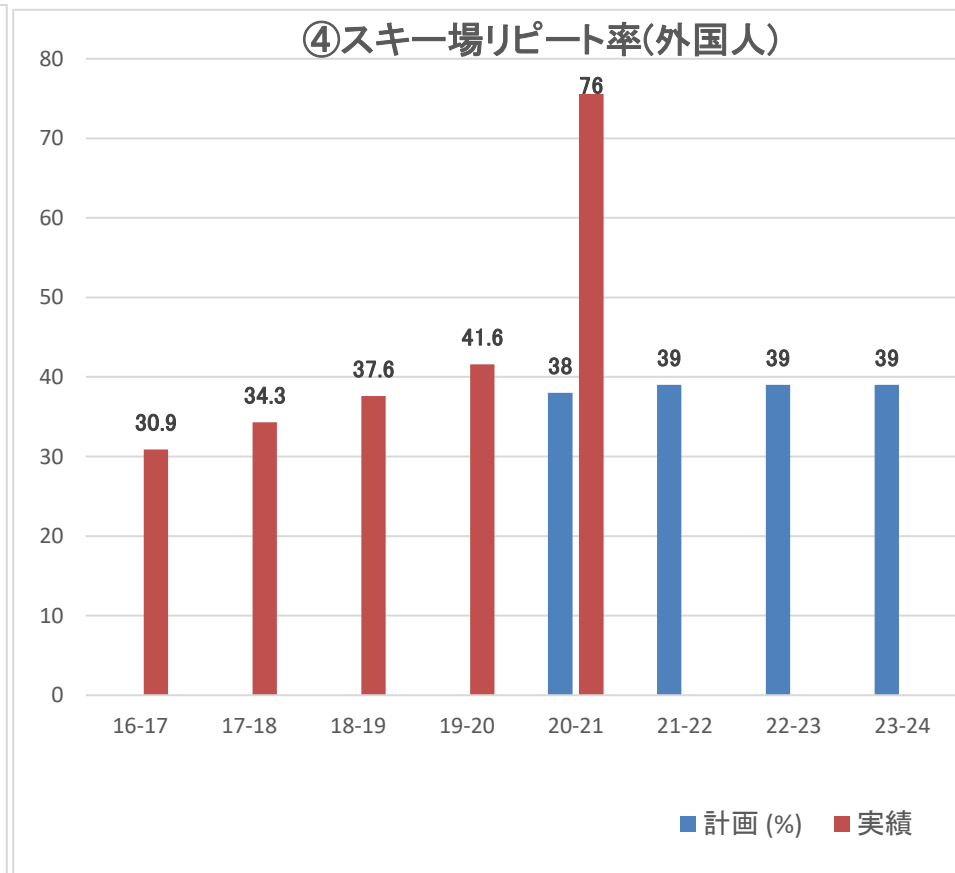
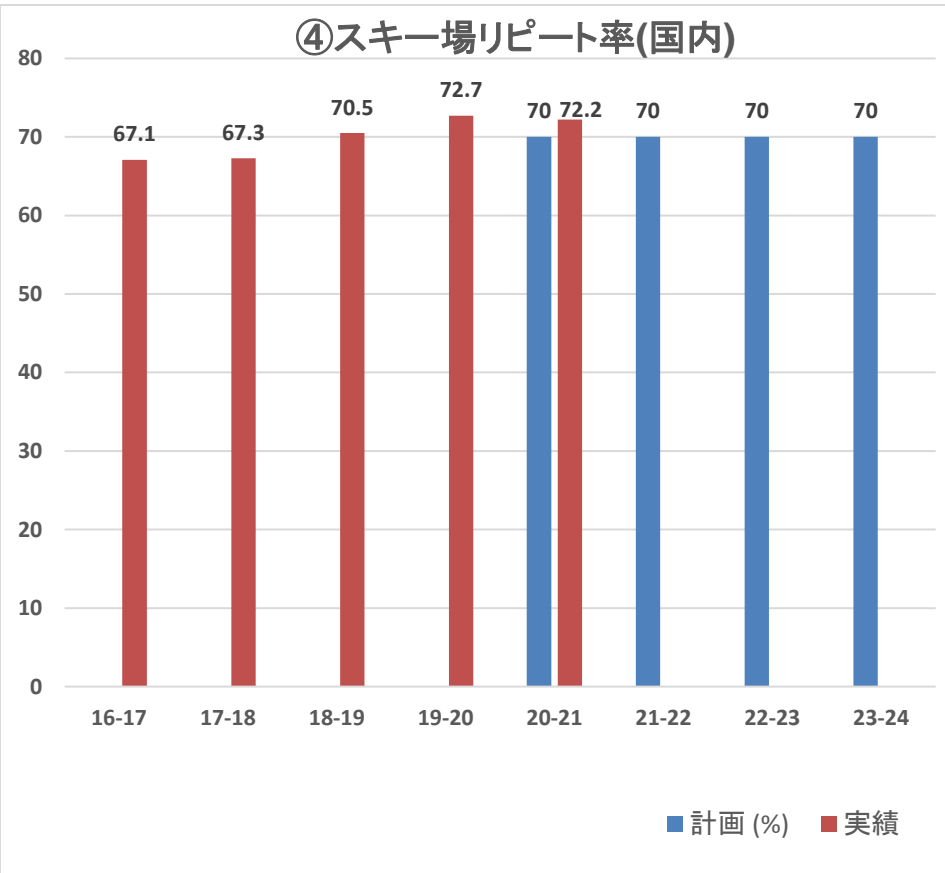


注: 22/1月までに高リスク集団のワクチン接種計画が完了することを前提にKPMGの予測値から推測
出典: HVPB調べ

KPI(成長目標指数)

④ 冬期(スキー場)リピート率

国内は70%確保を、外国人は39%達成を目標とします。



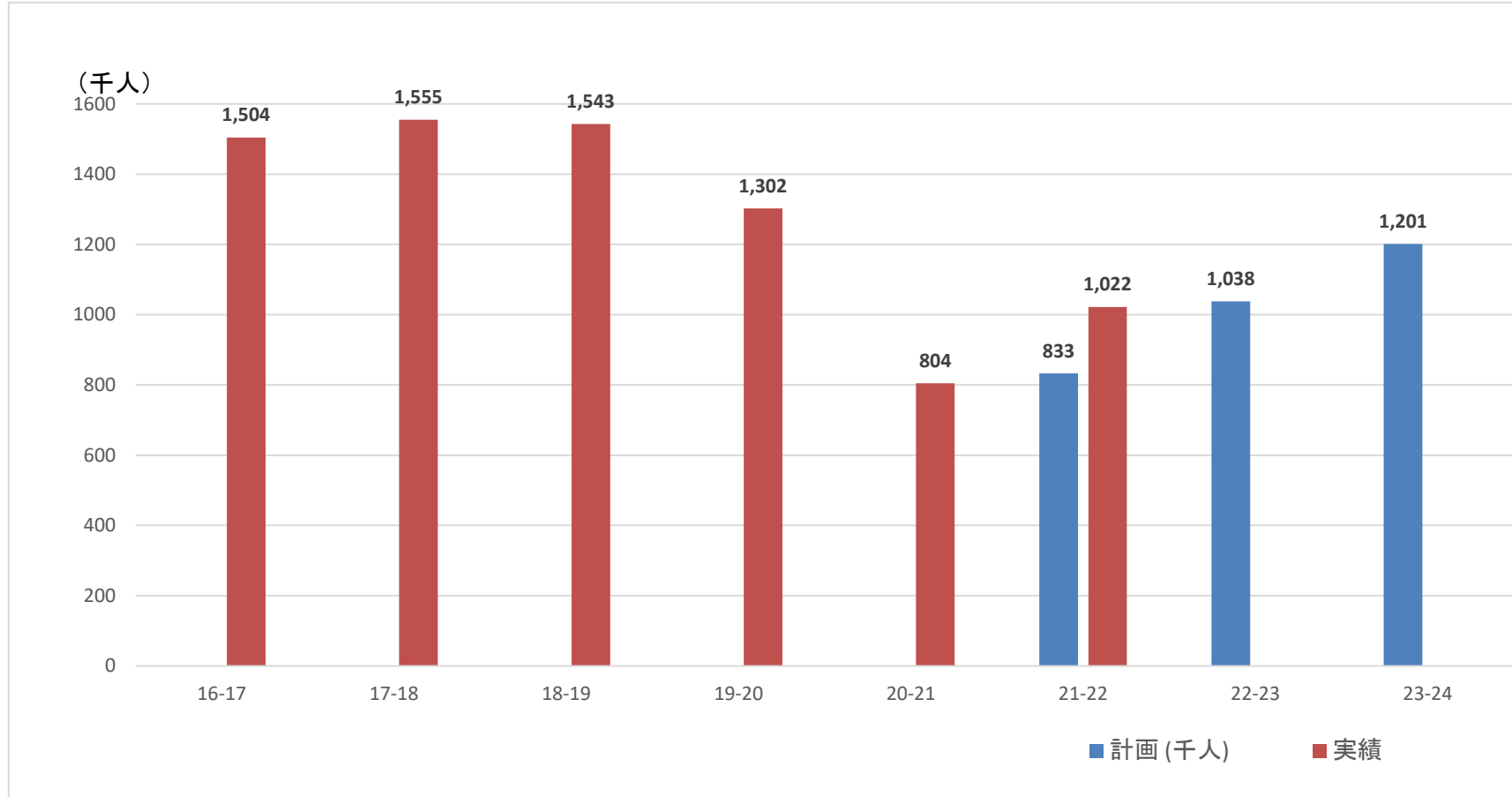
ほぼEXPATSのため、国内リピート率と同水準

注: 22/1月までに高リスク集団のワクチン接種計画が完了することを前提にKPMGの予測値から推測
 出典: HVPB調べ

KPI(成長目標指数)

⑤ 冬期スキー場総来場者数

コロナ影響で引き続き減少だが、前年度比で増加。



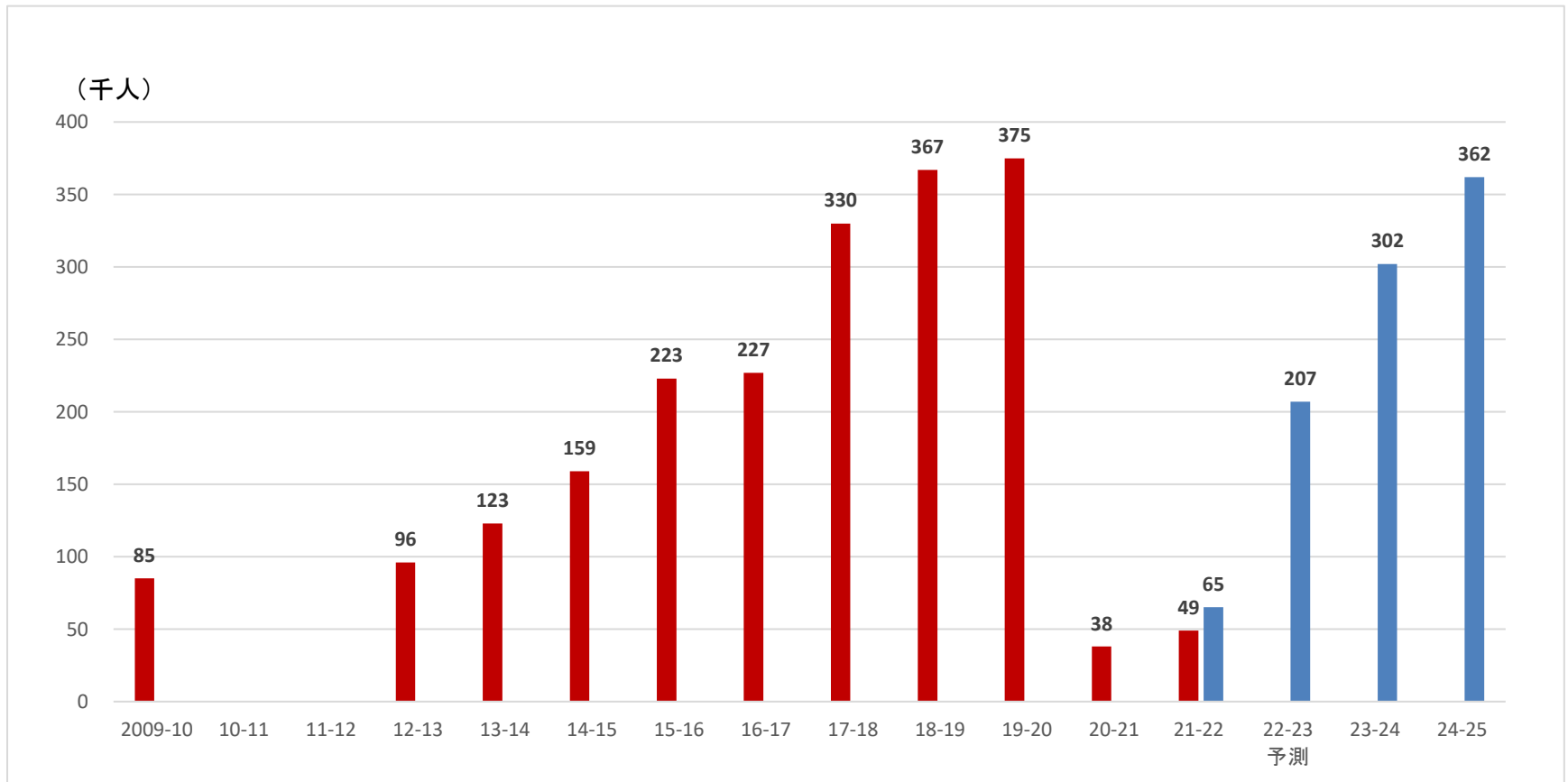
注: 22/1月までに高リスク集団のワクチン接種計画が完了することを前提にKPMGの予測値から推測
出典: HVPB調べ

KPI(成長目標指数)

⑥ ⑤の内外国人来場者数

新型コロナウイルスの影響で入国制限となり海外からの入込はゼロ。国内在住の外国人の利用のみとなりました。

(千人)



注: IATAの回復予測を参照にKPMGの国別外国人需要回復予測とHakuba Valley 2019-20年の国別外国人実績割合で推測

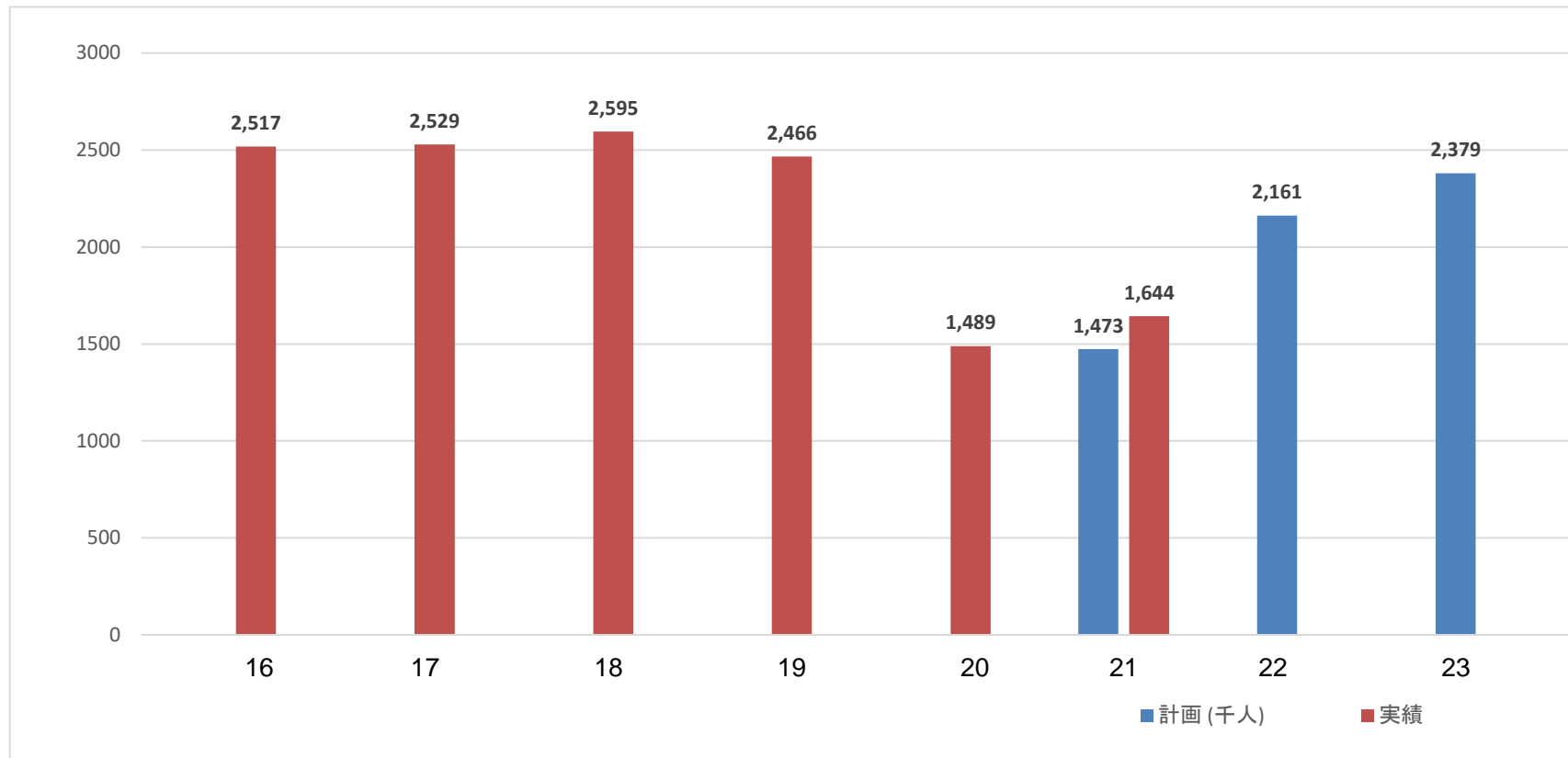
注: Hakuba Valleyは、爺が岳、鹿島槍、さのさか、五竜、Hakuba47、八方尾根、岩岳、柵池高原、白馬乗鞍、コルチナの10スキー場で構成

出典: Hakuba Valley入込推移実績と将来推計

KPI(成長目標指数)

⑦ 夏期観光客総来場者数

新型コロナにより夏期の来場者数は減少しているが、前年度比では増加傾向。回復には数年かかる見込み。

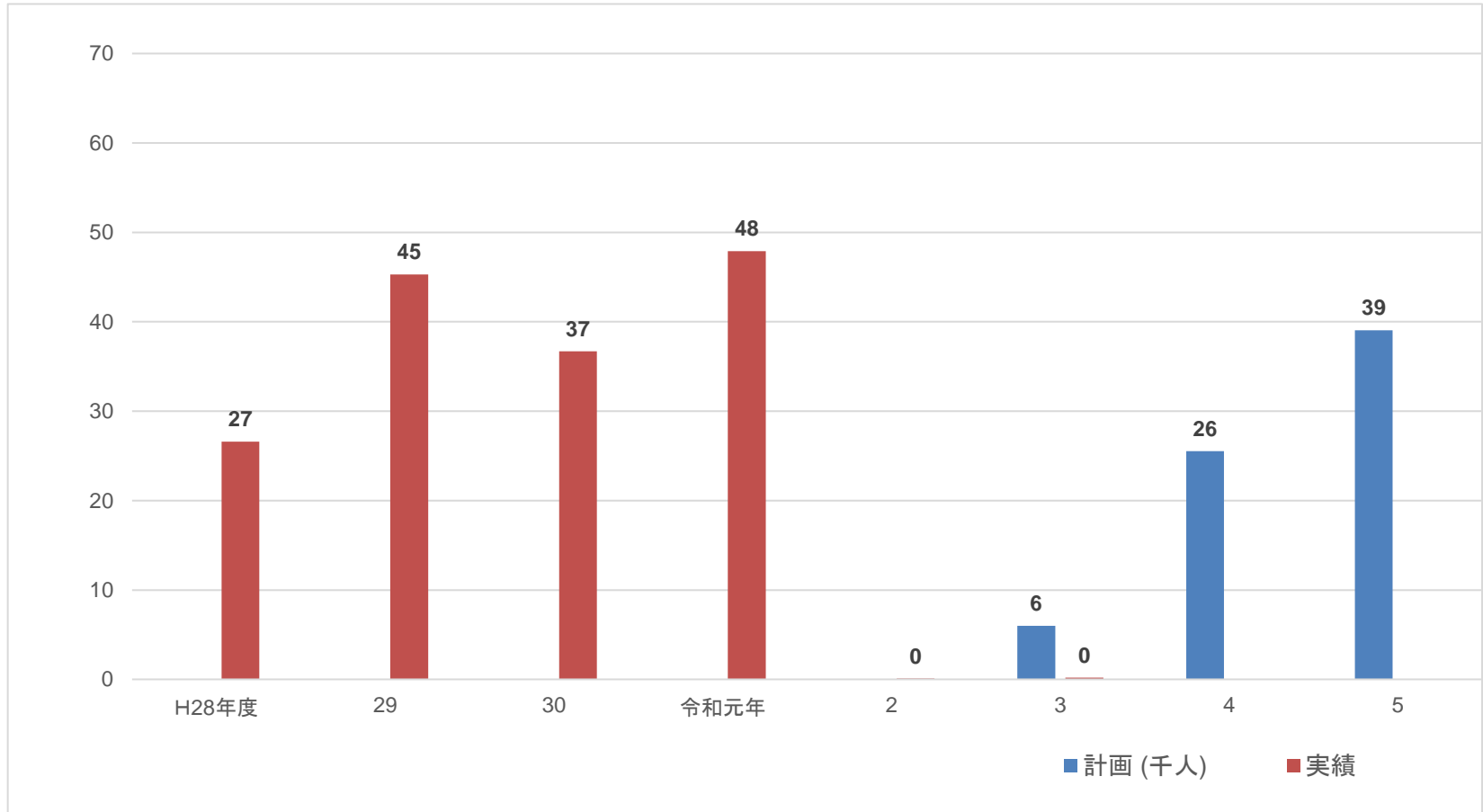


注: 22/1月までに高リスク集団のワクチン接種計画が完了することを前提にKPMGの予測値から推測
出典: 3市村調べ

KPI(成長目標指数)

⑧ ⑦の内外国人宿泊者数

海外からの入国制限により今年度のインバウンド宿泊者ゼロ。
回復には暫く時間がかかる見込み。



注: IATAの回復予測を参照にKPMGの国別外国人需要回復予測とHakuba Valley 2019-20年の国別外国人実績割合で推測
出典: 3市村調べ

予決算概要

R3年度決算までは、
従前の単式決算（現金主義）でご報告致します。
R4年度より複式会計を導入いたします。
今回予算は前年比較のため単式・複式に併記しますが、
決算からは複式に統一します。

予決算概要 - 決算(収入の部)

(単式:現金主義で記載)

議案第2号

令和三年度 一般社団法人HAKUBA VALLEY TOURISM 収支決算書

収入済額 68,304,481 円
 支出済額 61,211,202 円
 次年度繰越額 7,093,279 円 (内預り金198,706)

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(単位:円)

収入の部

項目	内訳	予算額	収入済額	差異	摘要
1.前年度繰越金	1.預り金	180,390	379,096	198,706	事務職員給与からの預り金(源泉所得税、雇用保険従業員負担分)
	2.繰越金	7,673,730	7,673,730	0	前年度からの繰越金
	小計	7,854,120	8,052,826	198,706	
2.会費	1.1号会員(3市村)	21,000,000	21,000,000	0	大町市、白馬村、小谷村
	2.2号会員(索道事業者協議会)	14,000,000	14,000,000	0	大北地区索道事業者協議会
	3.3号会員(観光3団体)	900,000	900,000	0	大町市観光協会、白馬村観光局、小谷村観光連盟
	4.4号会員(その他)	300,000	0	-300,000	
	小計	36,200,000	35,900,000	-300,000	
3.負担金	1.大町市	1,740,000	301,148	-1,438,852	バス停整備事業、免税・QR決済システム導入事業
	2.白馬村	3,758,000	3,245,929	-512,071	バス停整備、免税・QR決済システム導入、氷河調査事業
	3.小谷村	1,770,000	487,313	-1,282,687	バス停整備事業、免税・QR決済システム導入事業
	4.索道事業者協議会	0	0	0	
	小計	7,268,000	4,034,390	-3,233,610	
4.補助金(国・長野県・県観光機構)	1.国	4,460,000	4,401,100	-58,900	観光振興事業費補助金(国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業・バス停整備事業)
	2.長野県	15,960,000	11,766,000	-4,194,000	観光地域づくり重点支援事業補助金 ¥7,616,000-地域発元気づくり支援金 ¥4,150,000- (氷河調査)
	小計	20,420,000	16,167,100	-4,252,900	
5.雑収入	1.雑収入	180	165	-15	預金利子その他
	小計	180	165	-15	
6.借入金	1.借入金	0	4,150,000	4,150,000	プロモーションボードより氷河調査支払分借入れ
	小計	0	4,150,000	4,150,000	
計		71,742,300	68,304,481	-3,437,819	

予決算概要 - 決算(支出の部)

(単式:現金主義で記載)

支出の部

項目	内訳	予算額	支出済額	差異	摘要	
1.事業費	1.ホームページ関係費(ワストップ事業)	3,015,840	1,991,770	-1,024,070	ホームページ改修作業、プロバイダ利用料	
	2.BCルール策定事業 (ゲレンデ安全標識統一事業)	0	1,787,000	1,787,000	ゲレンデサイン看板製作費用(計1,782箇所)	
	3.スノーリゾート整備事業	8,920,000	8,802,200	-117,800	バス停整備事業:バス停看板統一、識別マグネットシート	
	4.クリーン認証制度策定事業	0	683,373	683,373	感染症対策セミナー開催、ステッカー作成制作費	
	5.SDGs事業	2,000,000	1,994,300	-5,700	取組みチェックシート、動画、ホームページ、パンフレット制作費	
	6.デザインコード八景選定・広報事業	1,300,000	2,172,000	872,000	デザインコード策定業務費、パンフレット・HP制作費・フォトコンテスト・八景選定事業費等	
	7.免税・QR決済システム導入事業	3,000,000	1,043,790	-1,956,210	端末代、初期設定費用	
	8.夏期アンケート事業	1,500,000	1,184,920	-315,080	アンケート企画、実施、バナー費用	
	9.感染症対策事業	1,000,000	0	-1,000,000	クリーン認証制度策定事業においてセミナー実施	
	10.関西方面誘客事業	6,000,000	0	-6,000,000		
	11.氷河調査事業	6,228,000	6,226,100	-1,900	開発検討会、氷河活用ロードマップの作成、調査費用	
		小計	32,963,840	25,885,453	-7,078,387	
2.管理費	1.給与・手当	27,000,000	23,525,539	-3,474,461	事務職員5.5名分人件費	
	2.法定福利費	4,300,000	3,685,007	-614,993	事務職員5.5名分社会保険料・労働保険料等	
	3.退職金引当金	1,700,000	944,000	-756,000	事務職員4名分退職金積立	
	4.事務所関係費	1,250,000	1,238,400	-11,600	事務所使用料(水道光熱費・電話FAXコピー使用料等)	
	5.需用費					
		(支払手数料)	80,000	51,245	-28,755	振込手数料等
		(旅費交通費)	20,000	19,902	-98	交通費等
		(外注費)	300,000	207,730	-92,270	PC各種設定、プレスリリース等
		(会議費)	10,000	3,300	-6,700	お茶代等
		(通信費)	10,000	36,757	26,757	切手代・郵送料等
		(消耗品費)	50,000	33,664	-16,336	名刺、印鑑、事務消耗品等
		(リース費)	250,000	349,173	99,173	PCリース料、携帯電話通信料、ZOOM利用料等
	6.委託費		613,000	879,642	266,642	会計顧問料、給与計算業務、役員変更登記費用、社員採用手数料等
	7.法人税等		30,000	21,000	-9,000	法人県民税(均等割)
8.預り金支払い		180,390	180,390	0	事務職員の住民税、社会保険料、源泉所得税	
	合計	35,793,390	31,175,749	-4,617,641		
3.予備費	1.予備費	2,985,070	0	-2,985,070		
	合計	2,985,070	0	-2,985,070		
4.借入金の返済	1.借入金の返済	0	4,150,000	4,150,000	プロモーションボードへ氷河調査支払分返済	
	合計	0	4,150,000	4,150,000		
計		71,742,300	61,211,202	-10,531,098		

注記

※本会計処理は、現金主義による収支決算書にて処理しています。

予決算概要 - 予算①(収入の部)

(単式:現金主義で記載)

議案第4号 令和四年度 一般社団法人HAKUBAVALLEY TOURISM 収支予算書

収入予算額 64,268,444 円
支出予算額 64,268,444 円

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(単位:円)

収入の部

項目	内訳	予算額	前年度収入済額	差異	摘要	
1.前年度繰越金	1.預かり金	198,706	379,096	-180,390	前年度より	
	2.繰越金	6,894,573	7,673,730	-779,157	前年度より	
	小計	7,093,279	8,052,826	-959,547		
2.会費	1.1号会員 (3市村)	21,000,000	21,000,000	0	大町市、白馬村、小谷村	
	2.2号会員 (索道事業者協議会)	24,000,000	14,000,000	10,000,000	大北地区索道事業者協議会、社員2名増で1000万増加	
	3.3号会員 (観光3団体)	900,000	900,000	0	大町市観光協会、白馬村観光局、小谷村観光連盟	
	4.4号会員 (その他)	300,000	0	300,000	新社員会費	
	小計	46,200,000	35,900,000	10,300,000		
3.負担金	1.大町市	1,700,000	301,148	1,398,852	SDG s 普及促進事業、ゲレンデ安全標識追加整備事業、宿泊予約システム整備事業	
	2.白馬村	700,000	3,245,929	-2,545,929	SDG s 普及促進事業、ゲレンデ安全標識追加整備事業、	
	3.小谷村	1,700,000	487,313	1,212,687	SDG s 普及促進事業、ゲレンデ安全標識追加整備事業、宿泊予約システム整備事業	
	4.索道事業者協議会	100,000	0	100,000	ゲレンデ安全標識追加整備事業	
	小計	4,200,000	4,034,390	165,610		
4.補助金	1.国	0	4,401,100	-4,401,100		
	2.長野県	R4重点支援	6,775,000	11,766,000	-4,991,000	SNS25万、SDG s 150万、ガストロノミー55万、八景普及誘客促進65万、ゲレンデ標識100万、顧客データ収集75万、予約システム207.5万
	小計	6,775,000	16,167,100	-9,392,100		
5.雑収入	1.雑収入	165	165	0	預金利息等	
	小計	165	165	0		
6.借入金	1.借入金	0	4,150,000	-4,150,000	氷河調査事業支払の為、HVPBより借入	
	小計	0	4,150,000	-4,150,000		
計		64,268,444	68,304,481	-4,036,037		

予決算概要 - 予算①(支出の部)

(単式:現金主義で記載)

支出の部

項目	内訳	予算額	前年度支出済額	差異	摘要	
1.事業費	1.HP管理費	515,840	15,840	500,000	プロバイダ利用料12か月分15,840、HP改修費500,000	
	2.ゲレンデ安全標識追加整備事業	2,000,000	1,787,000	213,000	観光庁スノーリゾート活用、ゲレンデ安全標識追加	
	3.SDGs事業	3,000,000	1,994,300	1,005,700	動画制作費、イベント講習会、チラシ製作費等	
	4.デザインコード八景選定・広報事業	1,300,000	2,172,000	-872,000	八景写真展、八景を使った旅行商品の提案、フォトコンテスト実施等	
	5.ガストロノミーツーリズム推進事業	1,100,000	0	1,100,000	食のイベント、生産者と販売業者のマッチング、HP作成	
	6.グリーン期の誘客ツール作成事業(SNS)	500,000	0	500,000	トレッキング動画作成	
	7.顧客データの収集共有活用事業	1,500,000	1,184,920	315,080	夏期の山と商業施設におけるアンケート委託費、ノベルティ費	
	8.宿泊予約整備事業(ワンストップ)	4,150,000	1,975,930	2,174,070	旅行商品の販売のためのホームページ(ワンストップ)整備事業	
	9.スノーリゾート整備事業	0	8,802,200	-8,802,200		
	10.グリーン認証制度策定事業	0	683,373	-683,373		
	11.免税・QR決済システム導入事業	0	1,043,790	-1,043,790		
	12.氷河調査事業	0	6,226,100	-6,226,100		
	小計	14,065,840	25,885,453	-11,819,613		
2.管理費	1.給与・手当	34,000,000	23,525,539	10,474,461	事務職員7名分人件費	
	2.法定福利費	5,300,000	3,685,007	1,614,993	事務職員7名分福利関係費	
	3.退職金引当金	1,650,000	944,000	706,000	事務職員6名分退職金積立	
	4.事務所関係費	3,000,000	1,238,400	1,761,600	水道光熱費、電話、FAX、コピー使用料、事務所賃料等	
	5.需用費	5-1.支払手数料	60,000	51,245	8,755	各種支払いの際、振込料
		5-2.旅費交通費	30,000	19,902	10,098	会場への移動の際、交通費等
		5-3.外注費	350,000	207,730	142,270	PC各種設定、プレスリリース、
		5-4.会議費	20,000	3,300	16,700	打合せ飲食代、会議の折、お茶代等
		5-5.通信費	40,000	36,757	3,243	切手代・郵送料等
		5-6.消耗品費	50,000	33,664	16,336	名刺、印鑑、事務消耗品等
		5-7.リース料	350,000	349,173	827	PCリース料、携帯電話通信料、ZOOM利用料等
	6.委託費	800,000	879,642	-79,642	会計顧問料、議事録作成、社保等手続き業務、登記手数料費用、給与計算等業務料等	
	7.法人税等	30,000	21,000	9,000	法人村県民税等	
	8.預り金支払い	198,706	180,390	18,316	事務職員の預かり源泉所得税・社会保険料・住民税の支払い	
	小計	45,878,706	31,175,749	14,702,957		
3.予備費	1.予備費	4,323,898	0	4,323,898		
	小計	4,323,898	0	4,323,898		
4.借入金の返済	1.借入金の返済	0	4,150,000	-4,150,000	HAKUBAVALLEY索道譲業者プロモーションボードへ	
	小計	0	4,150,000	-4,150,000		
計		64,268,444	61,211,202	3,057,242		

注記：本会計処理は、現金主義による収支決算書にて処理しています。

予決算概要 - 予算②(収入の部)

(複式会計で記載)

議案第4号 令和四年度 一般社団法人HAKUBAVALLEY TOURISM 予算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日
(単位:円)

収入の部

項目	内訳	予算額	前年度収入済額	差異	摘要	
1.会費収入	1.1号会員 (3市村)	21,000,000	21,000,000	0	大町市、白馬村、小谷村	
	2.2号会員 (索道事業者協議会)	24,000,000	14,000,000	10,000,000	大北地区索道事業者協議会、社員2名増で1000万増加	
	3.3号会員 (観光3団体)	900,000	900,000	0	大町市観光協会、白馬村観光局、小谷村観光連盟	
	4.4号会員 (その他)	300,000	0	300,000	新社員会費	
	小計	46,200,000	35,900,000	10,300,000		
2.負担金収入	1.大町市	1,700,000	301,148	1,398,852	SDGs普及促進事業、ゲレンデ安全標識追加整備事業、宿泊予約システム整備事業	
	2.白馬村	700,000	3,290,061	-2,590,061	SDGs普及促進事業、ゲレンデ安全標識追加整備事業、	
	3.小谷村	1,700,000	487,313	1,212,687	SDGs普及促進事業、ゲレンデ安全標識追加整備事業、宿泊予約システム整備事業	
	4.索道事業者協議会	100,000	0	100,000	ゲレンデ安全標識追加整備事業	
	小計	4,200,000	4,078,522	121,478		
3.補助金収入	1.国	0	4,401,100	-4,401,100		
	2.長野県	R4重点支援	6,775,000	11,766,000	-4,991,000	SNS25万、SDGs150万、ガストロノミー55万、八景普及誘客促進65万、ゲレンデ標識100万、顧客データ収集75万、予約システム207.5万
	小計	6,775,000	16,167,100	-9,392,100		
4.雑収入	1.雑収入	165	165	0	預金利子等	
	小計	165	165	0		
計		57,175,165	56,145,787	1,029,378		

予決算概要 - 予算②(支出の部)

(複式会計で記載)

支出の部

項目	内訳	予算額	前年度支出済額	差異	摘要	
1.事業費	1.HP管理費	515,840	15,840	500,000	プロバイダ利用料 12 か月分15,840、HP改修費500,000	
	2.ゲレンデ安全標識追加整備事業	2,000,000	1,787,000	213,000	観光庁スノーリゾート活用、ゲレンデ安全標識追加	
	3.SDGs事業	3,000,000	1,994,300	1,005,700	動画制作費、イベント・講習会の会場代・講演者への謝礼金、チラシ製作費等	
	4.デザインコード八景選定・広報事業	1,300,000	2,172,000	-872,000	観光庁看板商品の創出事業活用、八景写真展、八景を使った旅行商品の提案、フォトコンテスト実施、八景看板作成等	
	5.ガストロノミーリズム推進事業	1,100,000	0	1,100,000	食のイベント、生産者と販売業者のマッチング、HP作成	
	6.グリーン期の誘客ツール作成事業 (SNS)	500,000	0	500,000	トレッキング動画作成	
	7.顧客データの収集共有活用事業	1,500,000	1,184,920	315,080	夏期の山と商業施設におけるアンケート委託費、ノベルティ費	
	8.宿泊予約整備事業	4,150,000	1,975,930	2,174,070	旅行商品の販売のためのホームページ (ワンストップ) 整備事業	
	9.スノーリゾート整備事業	0	8,802,200	-8,802,200		
	10.クリーン認証制度策定事業	0	683,373	-683,373		
	11.免税・QR決済システム導入事業	0	1,043,790	-1,043,790		
	12.氷河調査事業	0	6,226,100	-6,226,100		
	小計	14,065,840	25,885,453	-11,819,613		
2.管理費	1.給与・手当	34,000,000	23,525,539	10,474,461	事務職員7名分人件費	
	2.法定福利費	5,300,000	3,685,007	1,614,993	事務職員7名分福利関係費	
	3.退職金引当金	1,650,000	944,000	706,000	事務職員6名分退職金積立	
	4.事務所関係費	3,000,000	1,238,400	1,761,600	水道光熱費、電話、FAX、コピー使用料、事務所賃貸料等	
	5. 需用費	5-1.支払手数料	60,000	51,245	8,755	各種支払いの際、振込料
		5-2.旅費交通費	30,000	19,902	10,098	会場への移動の際、交通費等
		5-3.外注費	350,000	207,730	142,270	PC各種設定、プレスリリース、
		5-4.会議費	20,000	3,300	16,700	打合せ飲食代、会議の折、お茶代等
		5-5.通信費	40,000	36,757	3,243	切手代・郵送料等
		5-6.消耗品費	50,000	33,664	16,336	名刺、印鑑、事務消耗品等
		5-7.リース料	350,000	349,173	827	PCリース料、携帯電話通信料、ZOOM利用料等
	6.委託費	800,000	549,642	250,358	会計顧問料、議事録作成、社保等手続、登記手続、給与計算業務等	
	7.法人税等	30,000	21,000	9,000	法人村民税	
		小計	45,680,000	30,665,359	15,014,641	
計		59,745,840	56,550,812	3,195,028		
当期純利益		-2,570,675	-405,025	-2,165,650		

お問い合わせ先



〒399-9301

長野県北安曇郡白馬村北城6329-1 3F

一般社団法人 HAKUBAVALLEY TOURISM

Tel 0261-71-1898 Fax 0261-71-1899

www.hakubavalley.com